

嶋崎大使によるカントシュ京都大学准教授との意見交換

9月28日、嶋崎郁駐ヨルダン大使は、第12回INWRDAM会議・第6回ワディ・システムにおける鉄砲水に関する国際シンポジウムに出席するために当地を訪問しているカントシュ京都大学准教授と意見交換を行いました。嶋崎大使は、26日に本シンポジウムに出席し、冒頭挨拶を行っています。

カントシュ准教授からは、本シンポジウムへの出席について謝意が表明されるとともに、ヨルダンのような乾燥地域における鉄砲水対策の重要性を、日本を含む世界中に発信していくことの必要性が示されました。

嶋崎大使は、政策を立案する上では研究者との連携が非常に重要であることを指摘するとともに、水分野における取組が益々重要になっている旨を述べました。

